



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.3.16 No. 4752

3・19

春闘第一波ストへ!

闘いの基本方針、要求と課題

- 98春闘第1波闘争 3月19日
(強制配転粉碎・運転保安確立第1波闘争)
- 98春闘第2波闘争 3月下旬
(強制配転粉碎・運転保安確立第2波闘争) (貨物の回答段階)
- 強制配転粉碎・運転保安確立第3波闘争 夏期

- ① 38,000円の大増賃上げ獲得!
* JR貨物の超低額・格差回答一ペアゼロ攻撃粉碎!
* 55歳以降の賃金改善一年金に応じた定年引き上げ!
- ② 強制配転者の原職復帰一資格保有者の土職登用!
- ③ 運転保安の危機的状況の打破!
- ④ 動乗動再改悪(黽)一構内全面外注化(卸本)阻止!

3・19第1波スト総行動へ!

【スト対象者】 営業職場・検修職場の全組合員

【3・19 第1波ストライキ総行動】

● 16時～18時 千葉支社抗議行動・千葉駅大街宣

- ▶ JR千葉駅前集合
- ▶ 勤務以外全力結集!

● 18時～20時 春闘第一波スト貫徹! 動労千葉総決起集会

- ▶ 千葉市民会館・小ホール
- ▶ 勤務以外全力結集!

● 営業関係の全組合員及びスト突入者は、上記の行動の前段で、全員集会を開催するので、▶14時に、千葉市民会館・小ホールに結集してください。

動労千葉は、98春闘勝利に向けて、二波のストライキを配置して闘いぬく方針を決定した。また、強制配転粉碎、反合・運転保安確立のために、夏場には第三波闘争を構える決意だ。

春闘第一波闘争は3月19日。われわれはこの日、営業職場と検修職場の全組合員を対象としたストライキに立ちあがる!

全ての犠牲が労働者に

「規制緩和」という名前の弱肉強食政策が、労働者の社会的地位に、決定的な一撃を加えようとしている。

アメリカでは、規制緩和により、賃金や労働条件は極度に悪化し、ぼう大な労働者が解雇され、多くの労働組合が破壊されて三千数百万人の労働者が貧困

層に叩き落とされた。さらに、社会保障制度の解体がそれに追い打ちをかけ、ぼう大な飢餓人口が生まれているというのだ。

この悲惨な現実を、日本も確実に後追いし始めた。闘わなければ生きていけない時代が到来しようとしている。98春闘は決定的に重要な闘となったのだ。

大幅賃上げ・格差粉碎 55歳以降の賃金改善!

何よりも、貨物の超低額・格差回答を打ち破らなければならぬ。貨物当局は、「ペアゼロ」を公言してはばからない状態だ。また日貨労は、「会社が国労にケジメさえつけければ骨身を削る」(書記長緒方)とけしかけ、賃上げなどそもそも要求しないとい

う構えだ。職場の怒りは沸騰点だ。ペアゼロ攻撃を打ち破ろう。さらに、55歳以降の賃金改善、年金支給年令の引き上げに、今年退職年令の引き上げが、今春闘の重点要求だ。これは、生きてゆかための最低限の要求だ。賃金ダウン制度を撤廃せよ! 定期昇給を実施せよ! 退職年令の引き上げをかちとろう!

強制配転粉碎の風穴を

さらに、今春闘の最重要課題は、強制配転された仲間たちを奪い返す風穴をあけることだ。予科の仲間、運転士試験に合格してからすでに13年、土職への発令がストップされている。われわれは、JR総連・革マルとの結託し、差別の限りを尽くす当局を絶対に許さない! わ

れわれは、当局がこの切実な要求を拒む場合は、夏季輸送期間中に第三波闘争をも辞さずに闘いぬく決意だ。JR危機にたつ結託体制を打倒しよう。

反合・運転保安確立!

深刻な運転保安の危機がJRを覆っている。技術継承をはじめ、列車を動かすという仕組み自体が崩壊してしまっている。不当な労務政策がその危機を一層増幅させている。JR東日本の運転阻害件数は、87年の二・二倍に及んでいる。しかも、これまでのレベルを超えた大合理化攻撃が襲いかかろうとしている。闘いなくして安全なし。反合・運転保安闘争の全面的な強化をかちとろう!